

\\ 10分でわかる！ //

2025年3月IAASBボード会議

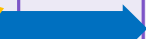


【説明者】

甲斐 幸子

(当協会テクニカルディレクター
/IAASBテクニカルアドバイザー)

IAASBの主なスケジュール（2025年～2027年）

プロジェクト名	2025年				2026年				2027年			
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
不正（ISA 240）			PIOB (7月)									
上場企業及び PIE（社会的影響度の高い事業体）	ITC*1 (2月)	承認										
専門家に関連した狭い範囲の改訂				承認 (9月or12月)								
監査証拠及びリスク対応						ED					承認	
ISRE 2410		PP				ED						承認
テクノロジー												

PP: プロジェクト・プロポーザルの承認予定

ED: IAASBボードでの公開草案の承認予定

承認: IAASBボードでの最終承認予定

PIOB: 公益監視委員会（PIOB）による最終認証予定

*1: 2025年2月に議論の背景や今後の予定を説明した、コメント募集文書（ITC: Invitation to comment）を公表

プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。
- これに対応し、不正に関する監査人の役割、責任をの明瞭化、より強固な要求事項の設定及び適用指針での明確化による識別した不正による重要な虚偽表示リスクへの一貫性のある効果的な対応の促進、職業的懐疑心の適切な行使の重要性の強調、TCWG (※)とのコミュニケーション及び監査報告書を通じた、不正に関連した手続の透明性の強化を目的として基準を改訂している。

2025年3月ボード会議の審議概要

- 最終基準を全会一致で承認
- 最終基準の承認審議に当たって、主に以下の点において議論が行われた。
 - ▶ 経営者による内部統制の無効化リスク
 - ▶ スタンドバック規定
- 適用日：2026年12月15日以後に開始する事業年度

タイムライン

2021年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年3月～2023年9月：ボード審議

2023年12月

公開草案承認

公開草案の公表：2024年2月6日
コメント期限：2024年6月5日

2024年9月：ボード審議

2024年12月：ボード審議

2025年3月

最終基準承認



(※) Those Charged With Governance (ガバナンスに責任を有する者)

Copyright © The Japanese Institute of Certified Public Accountants.

2 専門家に関連した狭い範囲の改訂

プロジェクトの概要

- 2025年1月に国際会計士倫理基準審議会(IESBA)が外部の専門家の業務の利用に関するIESBA Codeの改訂を公表した。
- IAASBの基準と改訂版IESBA Codeの相互運用性を維持するため、IAASBの基準について、改訂版IESBA Codeに関連する狭い範囲の改訂を行う。

2025年3月ボード会議の審議概要：

- プロジェクト・プロポーザル及び公開草案を全会一致で承認
- 公開草案の概要は以下のとおり。

ISA 620「専門家の業務の利用」の改訂

- ▶ 監査人が、利用する専門家の適性、能力及び客観性の評価等に関連して、手続の種類、時期及び範囲を決定する際に考慮することが求められる要因に「専門家の業務の利用に関連した職業倫理に関する規定」を追加すること等を提案

その他のIAASB基準の改訂

- ▶ ISRE 2400、ISAE 3000 及びISRS 4400 の適用指針において、ISA 620と同様の変更を提案

タイムライン

2024年12月：情報収集

2025年3月

プロジェクト・プロポーザル及び公開草案承認

公開草案の公表：2025年4月25日
コメント期限：2025年7月24日

2025年9月

最終基準承認予定

- 適用日：改訂IESBA Codeの適用日（2026年12月15日）と整合させるため、PIOBによるデュープロセスの承認後、約12か月後を適用日とすることを提案

監査証拠及びリスク対応

プロジェクトの概要

- 規制当局を含めた利害関係者から、監査証拠とリスク対応について統合的に扱うプロジェクトが必要との意見を受けたことから本プロジェクトを開始した。
- ISA 500^{*1}、ISA 330^{*2}及びISA 520^{*3}の改訂を同時に検討し、従来から行っていた監査証拠プロジェクトで扱っていた論点に加え、内部統制、テクノロジーに関連した論点が扱われる予定である。

2025年3月ボード会議の審議概要：

- 主に以下の論点について議論が行われた。
 - ▶ スタンドバック規定
 - ▶ 複数の目的のために利用される手続
 - ▶ 自動化されたツール及び技法

タイムライン

2024年3月：情報収集

2024年9月：ボード審議

2024年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

★ 2025年3月：ボード会議



2026年3月

公開草案承認目標

意見募集期間：120日間を予定

2027年9月

最終基準IAASB承認目標

*1 ISA 500「監査証拠」

*2 ISA 330「評価したリスクに対応する監査人の手続」

*3 ISA 520「分析の手続」

ISRE 2410

プロジェクトの概要

- ISRE 2410は2005年に発行されて以来、ほとんど改訂が行われていない。一方、ISRE2410が公表されて以来、ISRE2400（改訂版）の公表や、期中レビュー業務に関連するISAの改訂が行われたため、ISRE2410の適用に問題や課題が生じている。
- 期中レビュー業務の目的に適合する形で、高まるステークホルダーの期待に対応し、また、独立監査人による、期中レビューの手続の立案及び実施、並びに報告の際の一貫した実務を促進することを目的に、ISRE 2410の現代化及び改訂を検討する。

2025年3月ボード会議の審議概要

- 特に以下の点について議論が行われた。
 - ▶ 情報収集活動を通じて特定された問題点及び課題
 - ▶ 上記の問題点及び課題に対処するためのプロジェクト・プロポーザル草案
- プロジェクト・プロポーザルは2025年6月ボード会議で承認予定

タイムライン

2024年9月：情報収集



2025年3月：ボード審議



2025年6月：プロジェクト・プロポーザル承認予定

2026年6月

公開草案承認目標

意見募集期間：120日間を予定

2027年12月

最終基準IAASB承認目標

ISAE 3410の廃止

プロジェクトの概要

- IAASBは、2024年9月に最終化されたISSA 5000の議論の過程で、ISSA 5000は全てのサステナビリティ情報の保証業務に対して適用されることから、ISAE 3410を廃止することを予定していた。

2025年3月ボード会議の審議概要

- ISAE 3410の廃止について、全会一致で承認
- ISAE 3410は、ISSA 5000の適用日をもって廃止される。

タイムライン

★ 2025年3月：ボード審議



監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組



[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#)

監査

監査以外の保証業務及びAUP

国際監査・保証基準

解説動画等

ワークプラン及び適用スケジュール

公開草案等へのコメント



サステナビリティ～保証・開示・能力開発～

公認会計士とは

専門情報

一般企業の方へ

国内外のサステナビリティ開示
・保証に関する情報や
当協会の能力開発に関する情報を
紹介！

当協会ウェブサイトの[トップページ](#)
からアクセスいただけます！

サステナビリティ

「サステナビリティ入門」ページに

サステナビリティ開示・保証に関する基礎的な解説も掲載しています。

保証

開示

能力開発



●●信頼の力を未来へ
jicpa

◆日本公認会計士協会